

## 分数 × 分数

- ① 真分数 × 真分数
- ② 真分数 × 逆数
- ③ 真分数 × 仮分数

2メートルを

5倍して7等分することは

$$2\text{m} \times 5 \div 7$$

と表すことは

3年生までに学んでいます。

同じように、

3分の2メートルを

5倍して7等分することを

$$\frac{2}{3}\text{m} \times 5 \div 7$$

と表すことができます。

×  $n \div m$  を

×  $\frac{n}{m}$  と表すのが

× 分数です。

ですから、

×  $\frac{n}{m}$  を

×  $n \div m$  とすればよい。

ただ、

日本語の順で考えると

『かける  $m$  分の  $n$ 』

と読むので、

$\div m \times n$

としたほうが流れが良い。

とするだけのことで、  
特に目新しいことは無い。

ただ、  
分数×分数は

$$\frac{n}{m} \times \frac{q}{p}$$

$$= \frac{n \times q}{m \times p}$$

と定式化されるところだけが  
新しい。